

森間地区の避難道に手すりを

津波避難計画を基に整備／町長



はま だ じゅんいち 議員 浜田 純一

問

森間地区の避難道に手すりの設置をすべきではないか。

7、8年前だったと思うが、この森間地区の避難道の側溝にフタの設置をお願いした経緯がある。その時は、側溝自体が規格外のもので、これに合うフタがないため難しいという返事であった。それ以来、今日に至っている。

この坂道は田野浦の、下浜地区の住民の避難道になっており、おおむね30世帯が、災害時にこの道を利用し、森間

地区の方へ避難することができ

る。昨年末に近くの住民の方が側溝に足を踏み外し、怪我をして入院をした。このまま放置しておく危険であり、質問をすることにした。

昨今、南海地震の発生がいわれる中、2月の28日にはチリの方が犠牲になった。そういう意味合いからして、南海地震がいつ発生するか分からないが、発生すれば、下浜地区の方々に限らず、近くの方も避難する際、あわてているため、今回のような事故がまた起きないとも限らない。近くには高齢の住民も多く、大変心配される。

その対応として、この側溝にフタができないものであれば、手すりを設置してはどうか。

答

下村町長

植田本庁総務課長

この道は住民が生活道として利用しており、その坂道を登り詰めた付近が田野浦地区避難場所となっている。

この手すり設置の要望箇所は、急な坂道で片方は山のり面となっている。反対側に人家があり、その間の高いところが3m程度ある。

日常住民の方が利用するにも、また避難するにも危険と思われるが、町内にはこのように危険な場所が多くあり、これらの危険な箇所をすべて整備するには、多額の費用がかかるので皆さんの要望にすべて答えることはできない。

避難道の整備は南海地震対策として、計画的に進めていかなければならず、これまでも南海地震対策として自主防災組織の立ち上げや、各地区での避難道の整備などを進めており、基本的には全体の計画に基づいてやっている。計画の中でこの避難道は、特に

問題なしということになっている。いずれにしても、地域に住んでおられる皆さんが避難さ

れる大事な施設であるので、今後区長と協議をして検討したいと思っている。



田野浦森間地区の避難道